

1 主題名 かけがえのない命 3-(1)生命尊重

2 主題設定の理由

(1) ねらいとする価値

本学習は、3-(1)「生命がかけがえのないものであることを知り、自他の生命を尊重する。」という内容項目である。生命とは、他の何のものにも代え難い「かけがえのないもの」であり、人間存在の根幹である。そしてそれは、心臓が動いている、呼吸をしているなどの「からだの命」と、肉体と共に心、精神があるから生きていると捉えた「こころの命」といったように、多面的に考える必要があるものである。

近年、殺人や自殺といった自他の生命を軽視した事件が後を絶たない。また、社会の情報化が進み、コミュニケーションの低下が懸念されている現在、インターネット上には、他人の生き方や考え方を中傷するような内容の書き込みが毎日大量に行われている。このような社会背景だからこそ、子どもたちの生命に対する捉え方を広げることで、自他の生命や生き方、考え方を尊重しようとする道徳的実践意欲を高め、教育活動全体、さらには学校外の生活を通して生命尊重における道徳性を育む必要があると考え、本主題を設定した。

(2) 児童の実態(*人)

本学級の児童は、「命とはなんですか」というアンケートに、大多数が「大切なもの」や「一人一つしかないもの」と漠然と答えている。一方、「なくては動けなくなるもの」や「意識を失うこと」、「親からもらったもの」といったように、具体的に自分の考えを書いた児童はわずかである。また、脳死という言葉を知ったことがある児童は*人いるのに対し、その状態を具体的に説明できるのはごくわずかであり、中には「脳の病気で死ぬこと」といったような誤った認識をしている児童もいる。

*月*日(*人調べ)

1 命とはなんですか。(複数回答可)

- ・大切な物 *人
- ・一つしかないもの *人
- ・失うと死ぬもの *人
- ・親からもらったもの *人
- ・なくては動けなくなるもの *人
- ・生きている時の色々な感情と共にあるもの *人
- ・親からもらったもの *人

2 脳死という言葉を知ったことがありますか。

はい *人 いいえ *人

3 脳死とはどのような状態ですか。

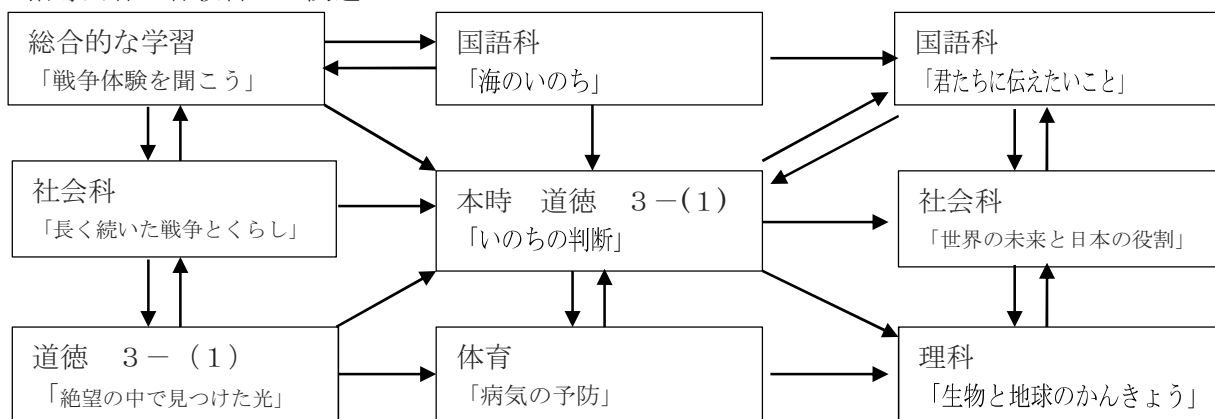
- ・脳が動かない *人
- ・心臓が動いているが脳が死んでいる状態 *人
- ・脳の癌 *人
- ・脳の病気で死ぬこと *人
- ・わからない *人

(3) 資料について(資料名:「いのちの判断」出典名:「NHK 道徳ドキュメント」)

本資料は、子どもの脳死判定を受けた両親が、ドナーカードの意思表示に従い、臓器移植を認めるに至るまでの様々な葛藤の様子を映す映像資料である。

「人の役に立ちたい」と医者を目指した子どもの生き方、考え方と、それを尊重することによって失われてしまう、子どもの心臓の鼓動、体のぬくもりとの間で、思い悩む両親の姿を通して、生命の重みや、生命がかけがえのないものであることを考えていけるようにしたい。

3 指導内容と各教科との関連



- 国語科の「君たちに伝えたいこと」の学習では、文章と詩を読み、友達と感想を交流することで、自分の考えや思いを広げたり深めたりした。メッセージ文「君たちに伝えたいこと」は、寿命を「生きることに費やすことのできる時間」とし、一瞬一瞬を精一杯生きることの大切さを伝えた文章である。本時の道徳の時間では、国語科の学習で感じた思いを生かし、自己の生き方や他人の生き方を尊重しようという考えを深化していきたい。

4 本時の指導

(1) ねらい

- ・生命がかけがえのないものであることを知り、生命をより大切にしようとする心情を育てる。

(2) 資料

- ・映像 ・挿絵 ・意思表示カード ・ワークシート

(3) 展開

	主な活動と発問 ●中心発問	予想される児童の反応	支援の手立て ◎個に対する配慮や支援 深化を意識した工夫は太文字
導入 5分	1 「命」について最近考えたことを話す。	・ニュースで悲惨な事故が起こったことを知って考えた。	・「命」について最近考えたことを発表させ、本時のねらいの方向付けを行う。
展開 35分	2 「いのちの判断」を見て、話し合う。 ○ 洋介さんはどのような気持ちで臓器移植意思表示カードにサインをしたのだろう。 ○ 洋介さんの呼吸音を聞いて、お父さんはどう思ったか。 ● 両親はどのような決断をしたのか考える。	・人の役に立ちたい。 ・自分が死んでも他の人に助かってほしい。 ・洋介はまだ生きている。 ・回復する奇跡を信じたい。 ・呼吸を止めたくない。 ・臓器移植を認めたと思う。 （子どもの気持ちだから） （他の人が助かるから） ・臓器移植を認めなかったと思う。 （臓器移植を認めると子どもが死んでしまう。） （回復する奇跡を信じる） ・どちらにするかまだ決めきれない。 （子どもの気持ちを尊重したいけれど、それを認めると呼吸がとまってしまう。）	・「人の役に立ちたい。」と思う洋介さんの気持ちと、臓器移植によって救われる命があることを抑える。 ・脳死状態であっても、心臓が動いて、体が温かいことを押さえない。 ・脳死と臓器移植についてイラストを用いて視覚的に説明することで、選択によって失われるもの、守ることができるものが何であるのか整理する。 ◎意思表示カードを用いることで、全員が自分の考えを表現できるようにすると共に、一人一人の内的葛藤が読み取れるようにする。 ・ 違った立場の意見の交流を通して「命」のとらえ方を深められるようにする。
終末 5分	3 臓器移植を認めた親と、認めなかった親のエピソードと思いを紹介する。 4 本時の学習を振り返る。 ○ 授業で気付いたことを書く。	・自分や家族の命を大切にしていきたいと思った。	・違う決断をした親のエピソードや思いを紹介することで、様々な考え方があることを実感できるようにする。

5 評価

- 命の尊さについて、多面的に考えを深めることができたか。
- 生命をより大切にしようとする心情を高められたか。